

文教大学情報学部 社会調査Ⅲ 研究報告

## SNS問題写真と投稿意識

2014年1月

文教大学情報学部広報学科3年

B1P11154 渡邊 竜也

目次

第1章	調査研究の概要	3
1.1	調査研究の目的と背景	3
1.2	調査に関する状況	4
1.3	調査研究の方法	7
1.4	成果の概要	9
第2章	調査研究の成果	12
2.1	調査回答者の概要	12
2.2	モラルやプライバシーへの注意と写真利用	13
2.3	性差と写真利用	19
第3章	まとめと今後の課題	26
3.1	まとめ	26
3.2	今後の課題	26
参考文献リスト		27
資料	単純集計結果	28

## 第1章 調査研究の概要

### 1.1 調査研究の目的と背景

ローソンやミニストップでは、アイスクースの中に人が入り、その画像を Facebook、Twitter で載せたことによりインターネット上で、瞬く間に拡散され「不衛生だ」とし、炎上しました。その結果、写真を載せた本人は解雇され、一部では損害賠償を請求される事態になりました。

また、店舗との FC 契約が解除される場所もあった。このように簡単に写真の撮影が可能になり、世界中でリアルタイムに閲覧できるようになりました。スマートフォンの普及により、このような問題はこれからもっと増えていくことが予想されます。

さらに個人情報も特定され、傷害事件にまで発展する事案も起きている。自分が載せた写真の背景から住んでいる場所を特定されていて、それがサイトでまとめられていると言う。安易に画像を載せることで事件にまで発展することが起きているのだ。こういったことは、誰にでも起きる可能性があり、気をつけないといけない。自分が注意していても、友達が載せた写真から特定される場合もあるので、お互いの了承を得てから載せることが重要である。

また、サイバー犯罪は年々増加している傾向にあり、SNS を利用している未成年者が犯罪に巻き込まれている。7月には LINE で、殺人事件が起きた。これによりサービスに規制がかかるようになった。

画像の使用状況とネットへの投稿に関する意識を調査し、ネットテラシーはどういった状況に置かれているのかについて調べたい。安易に現在の状況を伝えられるメディアが登場すると共に、使用者は正しく使いこなさなければならない。自分がメディアになることも忘れてはならない。特に若い人ほど SNS の利用が多く問題を起こしやすくなっている。

## 1. 2 調査に関する状況

### (1) 「ソーシャルメディアと顔写真」に関する調査

Facebook では、サービスの「実名」と「自分の顔写真」が掲載されることによる「信頼性の高さ」が話題となったが、「あなたは、いずれかの SNS のプロフィール画像に現在、ご自分の顔写真を載せていますか」の質問では、SNS に自分の顔写真を載せている割合は 20 代女性で 35.6%、20 代男性で 19.4% となり、"顔出し"率は、男性で 4 人に 1 人、女性で 3 人に 1 人程度になる。

「あなたは、SNS のプロフィール画像に顔写真を載せることに抵抗はありますか?」という質問に対しては、プロフィール画像に顔写真を載せることに抵抗のある人は 88.4%。載せている人が 24.8% いるながらも、何らかの抵抗はあることが明らかとなる結果となった。

もっとも抵抗が高かったのは 25-29 歳女性で 94.2%。「あなたは、SNS のプロフィール画像に顔写真を載せたいと思いますか?」という質問では、SNS にプロフィール画像を載せた人は男女で大きな差となり、男性が 13.6%、女性が 23.1%。

(男性スキンケアブランドの Men's BIORE。2011 年 8 月 19 日～8 月 21 日)

男性スキンケアブランドの Men's BIORE の調査では、若い人ほど SNS のプロフィールの写真が自分の顔写真でいることがわかった。また、男女間で大きな差があり、女性のほうがネットに顔出しをしている。Facebook のような実名登録のサービスが広まったことによる変化もあるのではないかと思う。今後よりネットで実名登録が必須になれば、必然と公開することに対し、抵抗が無くなるのではないか。スマートフォンにより身近になったネット環境が加速させた要因ともいえるだろう。今後問題になるとすれば、なりすましや SNS 以外の場所での犯罪が増えそうだ。また、プライバシーの観点から、多くの人が危険だと感じていると答えていた。載せている人と載せない人の中には大きな違いが見られそうである。

### (2) ネットへの写真公開に関する主婦の実態調査

モバイル WEB にて主婦 644 人を対象に、写真について調査したところ、9 割以上の主婦が写真を撮るときに使うカメラは「携帯電話のカメラ」と回答している。

子供や友人と撮った写真を SNS やブログにアップしたことがあるかを調査したところ、70.5%の主婦が「アップしたことがある」と回答している。

また、友人・知人が自分と一緒に取った写真やプリクラなどを、SNS やブログにアップすることについてどう思うかを調査したところ、「全く抵抗はない」が 8.5%、「あまり抵抗はない」が 30.6%と合わせて 39.1%の主婦が写真を公開されていることに抵抗がないことがわかった。

(調査対象は 10～40 代以上の主婦。2010 年 10 月 6 日～2010 年 10 月 18 日)

少し前の調査ではあるが、ほとんどの人が携帯電話で写真を撮影している。上記でも書いたようにスマートフォンが普及してきたこともあり、現在はもっと高画質で SNS の利用が活発だと思う。撮った写真の使い道として SNS への投稿に関しての質問がる。全く抵抗がないと回答した人が 4 割もいた。また、友達や子供を撮影した写真もネットに公開していることもわかった。

### (3) LINE のプロフィールを顔写真にしている人の割合は? - マイナビニュース調査

LINE では、アプリ内の「設定」からプロフィール写真を自由に設定することができるが、自分の顔写真を入れている人はどのくらいいるのだろうか。LINE のプロフィール写真は自分の顔が写ったものになっているかどうか、について聞いたところ、最も多かったのは全体の 54.8%を占めた「いいえ」という回答だった。次点は「設定していない」という答えで 38.4%、「はい」と答えたのは 6.8%に過ぎなかった。次に顔写真を設定している人にそうした理由について聞いたところ、「自分だと認識してもらいやすくなるから」というのが多数派の意見。一方で、顔写真を設定していない人に理由を聞くと、大きく 2 つに分かれた。最も多かったのが、「プライバシーを守るため」「安全を考えて」といったように、要は"自分であることを特定されたくない"ことを理由にしたものが多かった。全体の 19.3%を占めている。次に多かったのが「恥ずかしいから」というもので、こちらは 15.7%となった。

(調査対象:マイナビニュース会員。2013 年 1 月 30 日～2012 年 2 月 1 日)

2013 年 7 月には LINE で殺人事件が発生した。主犯である 16 歳の無職少女が仲間たちと共謀し、元同級生の少女をリンチの末に殺害。犯行の動機を「LINE に悪口を書き込まれたから」と語ったことが世間に衝撃を与えた。「アプリで悪口を書かれたくらいで人を殺す」という“スマホ世代の恐ろしさ”がマスコミで喧伝され、一部メディアでは「LINE 殺人事件」とも呼ばれた。運営元は 7 月 23 日、これまで KDDI で行なっていた 18 歳未満の ID 検索の制限を、9 月をめどに全キャリアに対応すると発表した。悪口を書かれたことで殺人までに発展してしまった。特に LINE では気軽につぶやくことができるが、つぶやいたことがすぐに反映されてしまうので、削除する前に相手に伝わってしまうこともある。この事件では「やれやれー」などと誰かが書き込みをはやし立てた。50 人ほどのグループが閲覧するだけでなく、別グループの LINE に転写、転送され、広がっていった。このように特有の集団心理が働いたという。このようにグループで集団内のコミュニケーション上のトラブルが増加していくことが予想される。

### (4) 2013 年 SNS 利用動向に関する調査

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) は、無料のコミュニケーションツールとして普及しており利用者が急増している。2012 年 12 月末時点の国内ネットユーザーは 9,556 万人だが、SNS 利用者はそのうちの 52%にあたる 4,965 万人となった。2012 年の年

間純増者数は 676 万人で、1 ヶ月平均 56 万人の利用者が増加した。SNS の大半は無料登録できることから複数の SNS に登録を行う利用者も多く、国内における登録総数は重複登録分も含めると 2012 年末で 2 億 2,000 万件を超える。したがって SNS 利用者 1 人あたり平均で 4.5 件の SNS に登録していることになる。今後は SNS 利用者の年齢層が拡大していくため、登録者数・利用者数ともに増加することが見込まれ、3 年後の 2015 年末には利用者数が 6,321 万人、ネットユーザー全体に占める利用率は 65.3% に達する見通しである。

(株式会社 ICT 総研の SNS 利用動向に関する調査結果)

年々、増加傾向にある SNS であるが、問題も山ほどある。上記で LINE の殺人事件について書いた。このこともありサービスに規制がかかることになった。しかし、現在 SNS 自体増加していて、LINE 以外にもカカオトークや comm (コム) など無料で品質の良いサービスが多い。このように事件が起きてから規制をかけるのは遅い。予想できた問題である。法の整備が必要になってくるが、IT の発展は凄まじく、法が追いつかないのが現状だろう。よって、ユーザーのモラルやリテラシーが問われてくる。また、調査では 2015 年には SNS の利用は 6 割以上だと予想している。もっと多くの人々が写真や書き込みが増え、犯罪も増えていく。

#### **調査を行うことの重要性と社会的意義**

近年、スマートフォンや SNS などが普及し、欠かせないツールとなっている。しかし、犯罪やプライバシーの問題も多くなっている。ほとんどの人は何気なく写真をネットに載せていると思われる。特に若い人の問題が浮き彫りになっている。そこで、若い人のネットへのリテラシーがどの程度なのか調査することによって、ネットへの意識とリテラシーの課題が見えてくるだろう。

### 1. 3 調査研究の方法

#### (1) 進捗経緯

- 5～7月 : 調査テーマ討論・決定
- 8～10月 : 最終討論・調査票作成
- 10月 : 調査票完成・調査実施
- 11月 : 単純集計結果報告
- 12月 : 報告書作成

#### (2) 調査の概要

##### a. 調査の意図・仮説

- ・自分が発信した情報で炎上したことがあるかの有無
- ・プライバシーを考慮してネット上に写真を載せている
- ・友人が自分の写真をネットに公開するのに抵抗がある
- ・自分が写真をネットに公開することに抵抗はある
- ・SNS でトラブルにあったことがある
- ・SNS 利用頻度
- ・個人情報の管理はどうなっている
- ・デマや誤った情報を鵜呑みにしたことがある
- ・写真や動画を LINE などのグループで共有している

##### 仮説

###### ～ネット～

- ・個人情報に気を付けている人ほど SNS の利用度が低い。
- ・SNS の利用が多い人は、相手の個人情報など考慮していない。
- ・ネットへの投稿回数が多い人ほど、アカウントを使い分けていて、他人のことを考慮している。
- ・自分の投稿が友人・知人に限られていると、個人情報やモラルを気にする。

###### ～写真～

- ・大人数で撮った写真の方が、SNS に載せる抵抗感がない
- ・定期的に写真を公開している人は、アプリでもよく写真を共有している
- ・SNS とアプリでは写真の使い道を分けていて、アプリの方が写真を活用するのが多い。
- ・写真を SNS で公開してもいいという人と、してほしくない人に二極化する。
- ・写真やつぶやきの回数が多い人ほど、SNS の利用度が高い。
- ・友人が載せた写真に抵抗を感じたことがある場合、消すまでには至らないことが多い。

- ・ 個人情報に気にする人ほど、SNS で写真を載せることに抵抗がある。
- ・ ネットに写真を載せることに抵抗がある人ほど、インターネットの利用時間が短い。
- ・ SNS のプロフィールを自分の顔写真にしている人は、写真をアップロードする際に選別して載せている。
- ・ 不適切な写真に対する感想で問 1 2. F,G,H の項目で「あてはまる」が 1 に近い傾向があると、不適切な写真を持っている。
- ・ SNS への投稿回数が多い人で、自分の投稿が友人・知人に限られていると、不適切な写真を保存している。
- ・ 不適切な写真はみんな持っているが、それをネットへ公開するまでには至らない。

#### b.調査対象者と方法

調査対象：文教大学生

調査方法：紙面によるアンケートを授業内に実施

#### c.主な質問項目

- ・ インターネット利用状況（時間・種類）
- ・ SNS アカウントの数
- ・ SNS 利用状況
- ・ 不適切な写真に対する考え

#### d.依頼数と回答数

依頼数       ： 150 枚（放送論Ⅱ：60 枚、情報表現・シナリオ：90 枚）

有効回収数： 105 枚（放送論Ⅱ：47 枚、情報表現・シナリオ：74 枚）

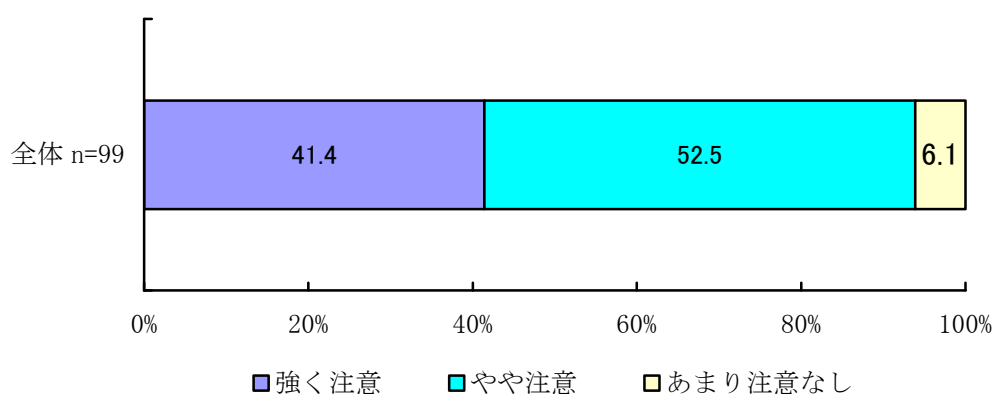


## 1. 4 成果の概要

### (1)主な成果

SNS の普及により、つぶやく頻度や写真を投稿する頻度が増加している。それらの人には、写真の投稿に際してモラルやプライバシーについて注意をしている人も居るし、注意しない人も居ると考えられる。そこで、モラルやプライバシーへの注意度合を調査した。その結果を図 1-4-1 に示す。

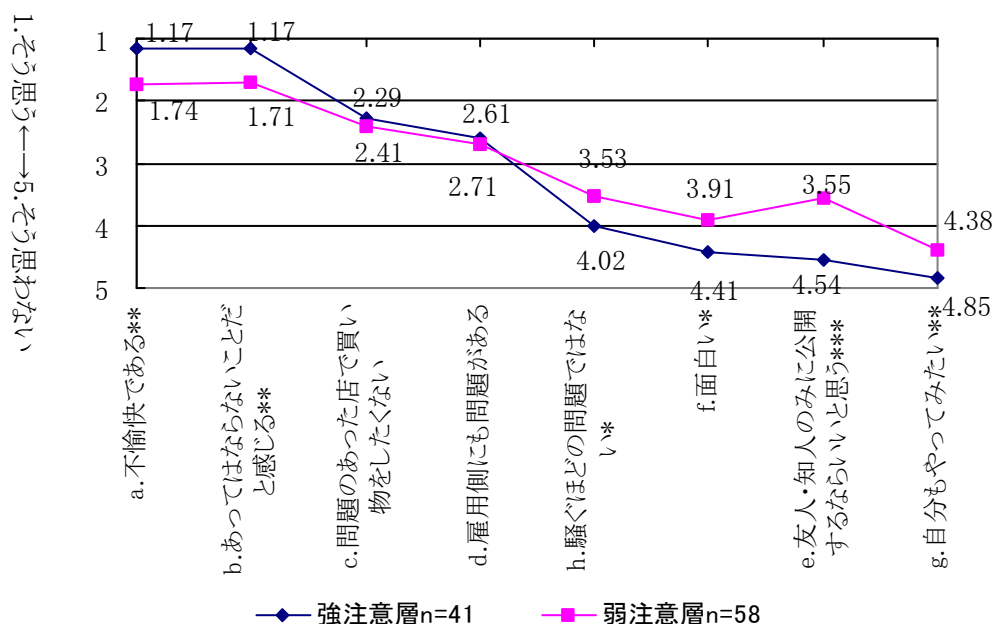
図 1-4-1 モラルやプライバシーへの注意



「強く注意」が約 41%、「やや注意」が約 53%、「あまり注意なし」が約 6%と回答した。全般的に注意はしているが、その度合は様々である。そこでこの結果を「強く注意」を強注意層、「やや注意」と「あまり注意なし」を弱注意層とし、この 2つのグループによって写真利用に関する行動がどのように異なるのかを以下で見えていく。

最近はバイト先でのいたずら写真など、不適切な写真のアップロードが社会問題となっている。そこでこの種の写真利用への意見を調査した。調査では下記の8項目を設定した。

図1-4-2 不適切写真アップロードへの意見



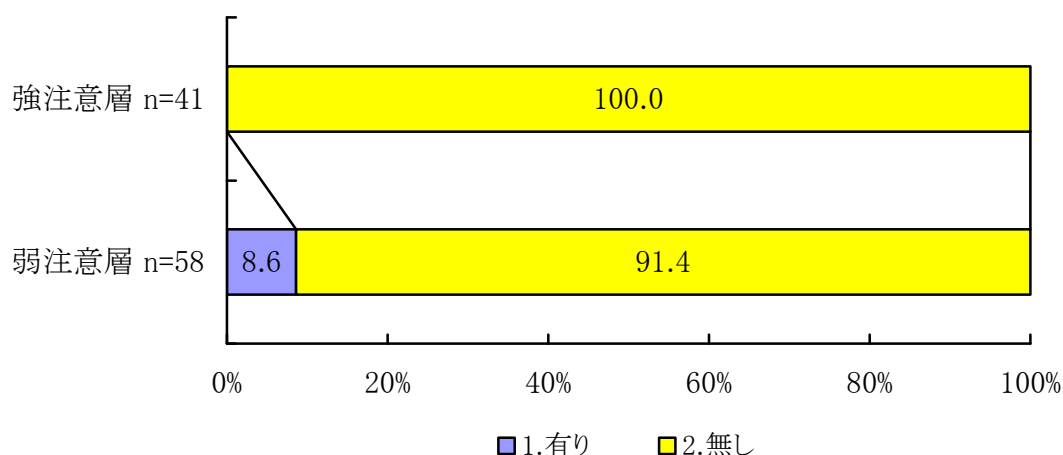
- a. 不愉快である
- b. あってはならないことだと感じる
- c. 問題のあった店で買い物をしたくない
- d. 雇用側にも問題がある
- h. 騒ぐほどの問題ではない
- e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う
- f. 面白い
- g. 自分もやってみたい
- h. 騒ぐほどの問題ではない

これらの項目に対して、「1. と思う」～「5. そう思わない」の5段階で回答を得た。これらの回答の選択肢番号に対し、強注意と弱注意層毎にグループの平均で不適切写真アップロードへの意見の受け止め方を分析した。その結果を図1-4-2に示す。

結果は、「a. 不愉快である」、「b. あってはならないことだと感じる」は強注意層で非常に同意感が強く、弱注意層との間には有意差がある。次に「c. 問題のあった店で買い物をしたくない」、「d. 雇用側にも問題がある」は双方に差はなく、同意の度合は低下していく。次に「h. 騒ぐほどの問題ではない」、「f. 面白い」、「e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う」、「g. 自分もやってみたい」の項目になると、弱注意層の方が同意の度合が高まり、

両者の間には有意差がある。つまり不適切な写真への意見には、様々な点で強注意層と弱注意層の間には有意差があり、弱注意層は寛容である。問題を惹起する予備軍的存在たる様相を示している。つまり不適切な写真のアップロードを起こしうる潜在層が広く存在していることを示している。

図1-4-3 自分が発信した情報でのトラブル



強注意層と弱注意層で、自分が発信した情報でトラブルが起きたことがあるか集計を行った。強注意層ではトラブルが起きていないが、弱注意層では9%の回答者にトラブルが起きていることがわかった。

これは、トラブルは注意すれば回避可能だが、注意が不足すると発生することを如実に示している。

## (2)その他成果

- ・弱注意層で女性である人は、トラブルを起こす可能性が高い。
- ・強注意層はネットに対し、細心の注意を心掛けている。
- ・弱注意層はSNSが日課になっている。
- ・写真アップする際の考え方が強注意層と弱注意層での大きな差がある。
- ・女性はSNSやネットを男性よりもよく利用している。
- ・女性はSNSの機能をよく活用するが、男性は閲覧することが主となっていると考えられる。
- ・女性はSNS利用にとってもメリットがあると思っている。
- ・男性は女性よりもSNSを活用して少なく、閲覧することのほうが多いと考えられる。
- ・SNSの使用時間が長い人や、良く投稿する人は、モラルやプライバシーが軽薄になっている。

## 第2章 調査研究の成果

### 2.1 調査回答者の概要

調査対象者は、文教大学湘南校舎の学生 105 名で、「放送論Ⅱ」「情報表現・シナリオ」の 2 講義で行い、紙面によるアンケート調査を実施した。なお回答標本は無作為抽出で作成してはいたないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2-1-1 と表 2-1-2 で確認しておく。

表 2-1-1 の学年別の分布では、1 年生はおらず、2、3、4 年生が主である。また表 2-1-2 の性別の分布では、ほぼ同じであった。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である、しかし、クロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されることが考えられる。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較

	1 年	2 年	3 年	4 年	計
回答者	0 (0)	19.0 (20)	62.9 (66)	18.1 (19)	100.0 (105)
情報学部 学生	25.1 (490)	25.1 (492)	22.0 (430)	27.8 (554)	100.0 (1956)

(注)母集団は情報学部 2013. 10 末時点である。

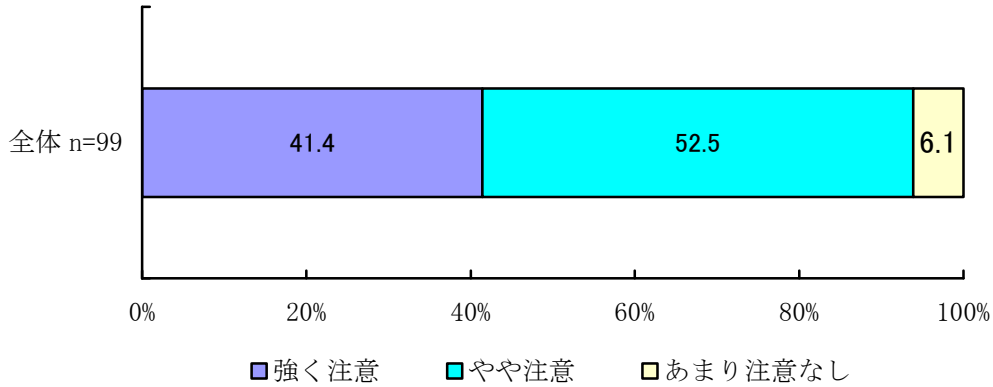
表 2-1-2 回答者と母集団の比較

	男性	女性	計
回答者	50.5 (53)	49.5 (52)	100.0 (105)
情報学部 学生	66.0 (1291)	34.0 (665)	100.0 (1956)

(注)母集団は情報学部 2013. 10 末時点である。

## 2.2 モラルやプライバシーへの注意と写真利用

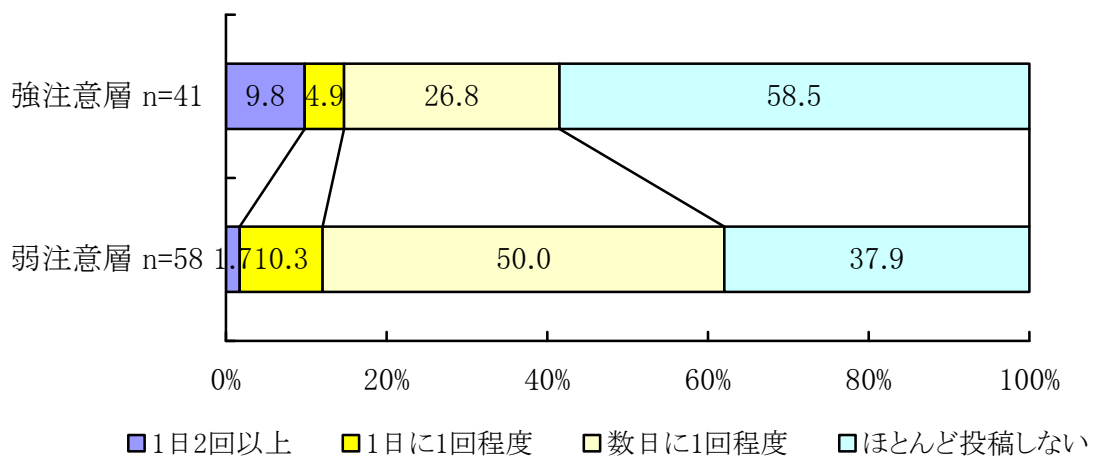
図 2-2-1 モラルやプライバシーへの注意



SNS の普及により、つぶやく頻度や写真を投稿する頻度が増加している。それらの人には、写真の投稿に際してモラルやプライバシーについて注意をしている人も居るし、注意しない人も居ると考えられる。そこで、モラルやプライバシーへの注意度合を調査した。その結果を図 2-2-1 に示す。

「強く注意」が約 41%、「やや注意」が約 53%、「あまり注意なし」が約 6%と回答した。全般的に注意はしているが、その度合は様々である。そこでこの結果を「強く注意」を強注意層、「やや注意」と「あまり注意なし」を弱注意層とし、この 2つのグループによって写真利用に関する行動がどのように異なるのかを以下で見ていく。

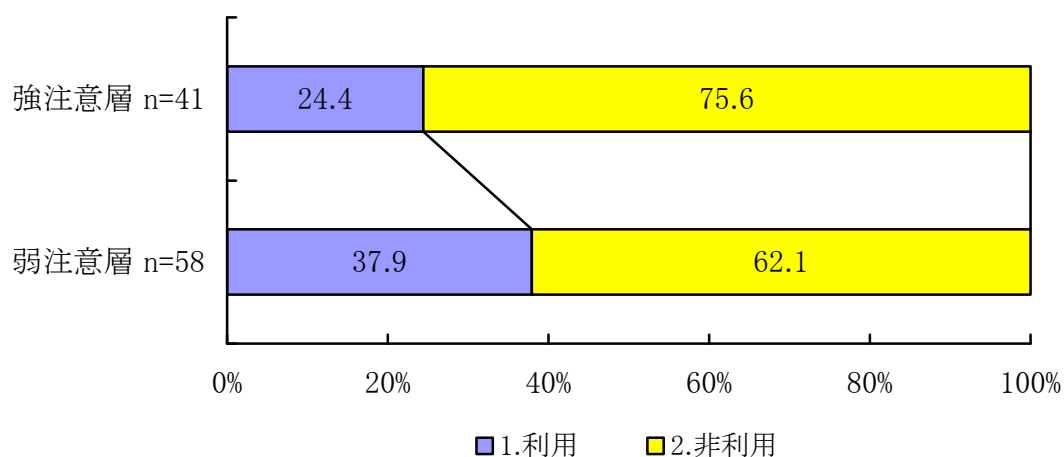
図2-2-2 注意度合とSNS写真利用頻度



強注意層と弱注意層で、SNS 写真利用頻度の集計を行った。1日に1回以上投稿している割合は、強注意層も弱注意層もほぼ同じであった。強注意層は「ほとんど投稿しない」と回答した人が約 59%と最も多く、半数以上が回答した。弱注意層では「数日に1回程度」

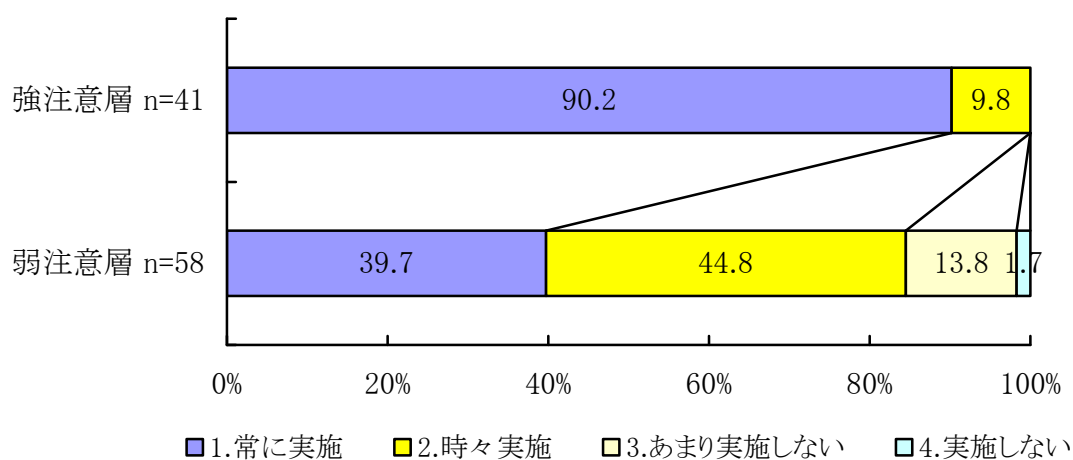
と回答した人が約 50%と最も多かった。弱注意層の方が、定期的に SNS で写真利用をしている。強注意層は、一部で写真投稿の多い人がいるが、全般には投稿の度合いが少ないことが分かる。

図2-2-3 注意度合とプロフィールへの顔写真利用



強注意層と弱注意層で、プロフィールへの顔写真利用の集計を行った。強注意層は「利用」が約 24%、「非利用」が約 76%。弱注意層では「利用」が約 38%、「非利用」が約 62%。モラルやプライバシーへの注意度合が高い強注意層よりも、弱注意層の方がプロフィールに顔写真を利用している。モラルやプライバシーに注意する度合の高い人々は、顔写真を利用しにくいことが分かる。

図2-2-4 アップロード時の写真の選別利用

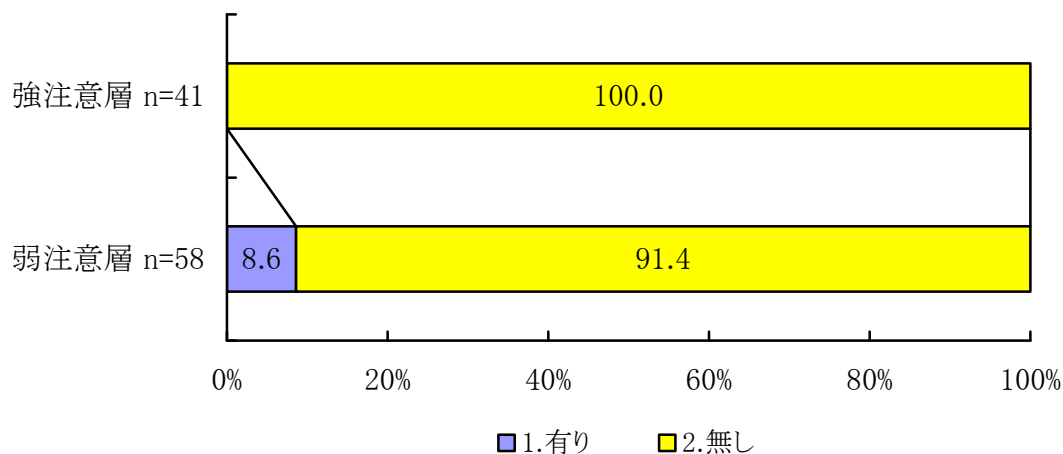


強注意層と弱注意層で、アップロード時の選別利用の集計を行った。強注意層は「常に

実施」が約90%でとても高く、「あまり実施しない・実施しない」と回答した人はいなかった。弱注意層では「時々実施」が約45%で最も高かった。

アップロード時の写真の選別では強注意層はとても意識して写真を載せていて、慎重であることが考えられる。

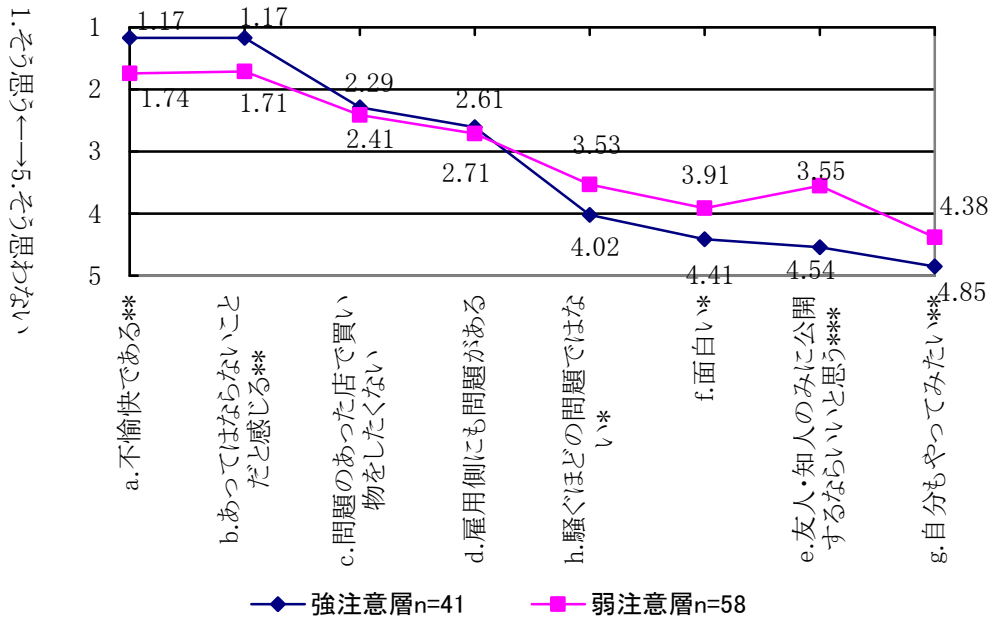
図2-2-5 自分が発信した情報でのトラブル



強注意層と弱注意層で、自分が発信した情報でトラブルが起きたことがあるか集計を行った。強注意層ではトラブルが起きていないが、弱注意層では9%の回答者にトラブルが起きていることがわかった。

これは、トラブルは注意すれば回避可能だが、注意が不足すると発生することを如実に示している。

図2-2-6 不適切写真アップロードへの意見



最近バイト先でのいたずら写真など、不適切な写真のアップロードが社会問題となっている。そこでこの種の写真利用への意見を調査した。調査では下記の8項目を設定した。

- a. 不愉快である
- b. あってはならないことだと感じる
- c. 問題のあった店で買い物をしたくない
- d. 雇用側にも問題がある
- h. 騒ぐほどの問題ではない
- e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う
- f. 面白い
- g. 自分もやってみたい
- h. 騒ぐほどの問題ではない

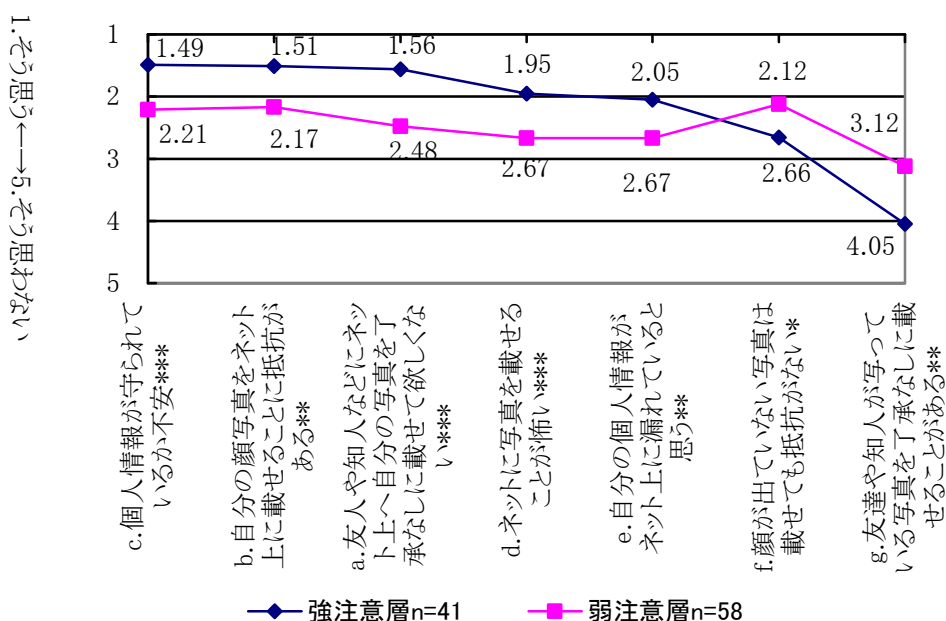
これらの項目に対して、「1. と思う」～「5. と思うわない」の5段階で回答を得た。これらの回答の選択肢番号に対し、強注意と弱注意層毎にグループの平均で不適切写真アップロードへの意見の受け止め方を分析した。その結果を図2-2-6に示す。

結果は、「a. 不愉快である」、「b. あってはならないことだと感じる」は強注意層で非常に同意感が強く、弱注意層との間には有意差がある。次に「c. 問題のあった店で買い物をしたくない」、「d. 雇用側にも問題がある」は双方に差はなく、同意の度合は低下していく。次に「h. 騒ぐほどの問題ではない」、「f. 面白い」、「e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う」、「g. 自分もやってみたい」の項目になると、弱注意層の方が同意の度合が高まり、



両者の間には有意差がある。つまり不適切な写真への意見には、様々な点で強注意層と弱注意層の間には有意差があり、弱注意層は寛容である。問題を惹起する予備軍的存在たる様相を示している。つまり不適切な写真のアップロードを起こしうる潜在層が広く存在していることを示している。

図2-2-7 写真アップへの考え方



次に写真アップロードへの考え方を様々な点から調査した。調査項目は下記の7項目である。

- a. 個人情報を守られているか不安
- b. 自分の顔写真をネット上に載せることに抵抗がある
- c. 友人や知人などにネット上へ自分の写真を了承なしに載せて欲しくない
- d. ネットに写真を載せることが怖い
- e. 自分の個人情報がネット上に漏れていると思う
- f. 顔が出ていない写真は載せても抵抗がない
- g. 友達や知人が写っている写真を了承なしに載せることがある

これらの項目に対して、「1. 思う」～「5. 思わない」の5段階で回答を得た。これらの回答の選択肢番号に対し、強注意層と弱注意層毎にグループの平均で写真アップへの考え方を分析した。その結果を図2-2-7に示す。

結果は「c. 友人や知人などにネット上へ自分の写真を了承なしに載せて欲しくない」、「b.

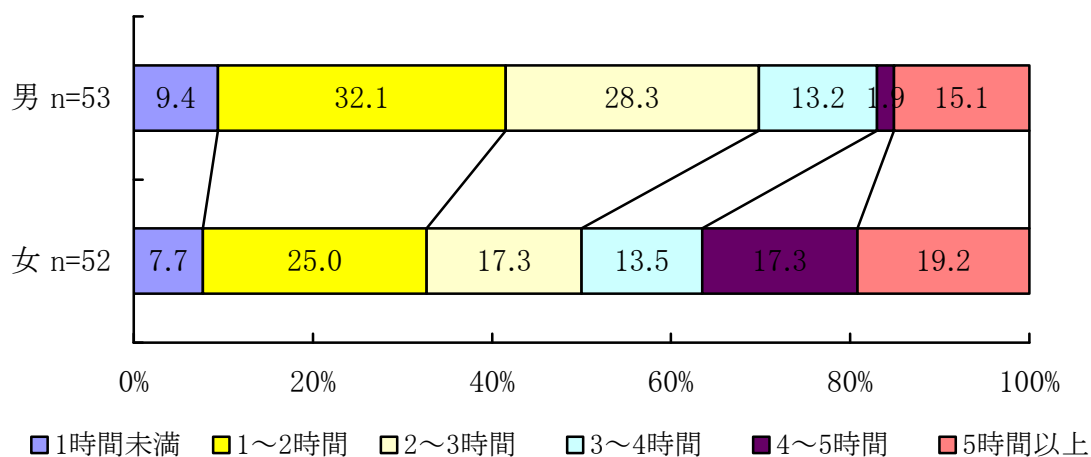
自分の顔写真をネット上に載せることに抵抗がある」、「a. 個人情報が守られているか不安」、「d. ネットに写真を載せることが怖い」、「e. 自分の個人情報がネット上に漏れていると思う」の項目で、強注意層は弱注意層より有意に「そう思う」傾向が強い。注意や心配の度が強い。自分に関連する情報にとっても気を使っている。

それに対して「f. 顔が出ていない写真は載せても抵抗がない」、「g. 友達や知人が写っている写真を了承なしに載せることがある」の 2 項目で弱注意層は強注意層よりも「1. そう思う」と思っている割合が高い。この 2 項目は、抵抗がないとっていて、勝手に載せてしまうなど写真アップへの考え方が楽観的であることから、弱注意層は日常的に写真アップへの考え方は希薄といえる。

### 2.3 性差と写真利用

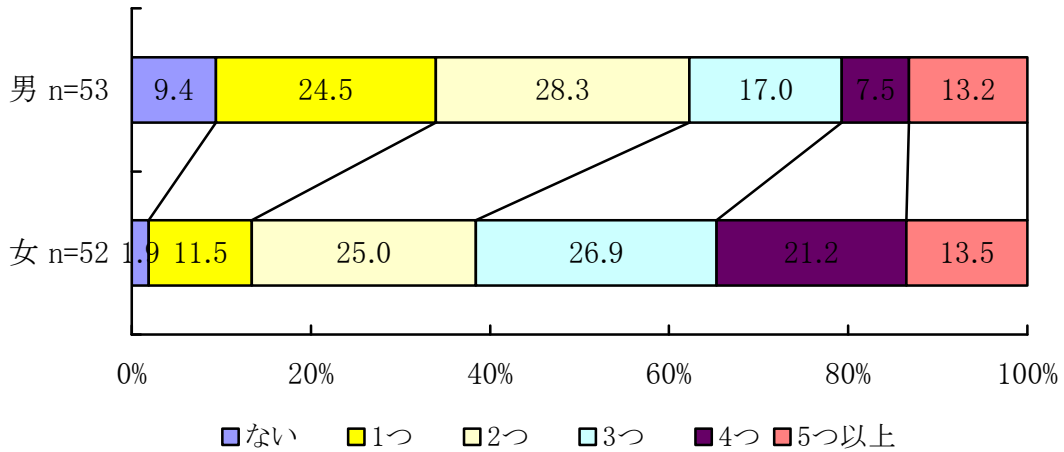
2.2 では、モラルやプライバシーへの注意度合を述べてきたが、ここでは男女差にも注目して、写真利用について述べていきたい。2.2 の強注意層と弱注意層では、写真利用の差や捉え方で大きな違いが見られた。そこで、男女差で見たときにどのような違いが出たか紹介していく。

図2-3-1 インターネット利用時間



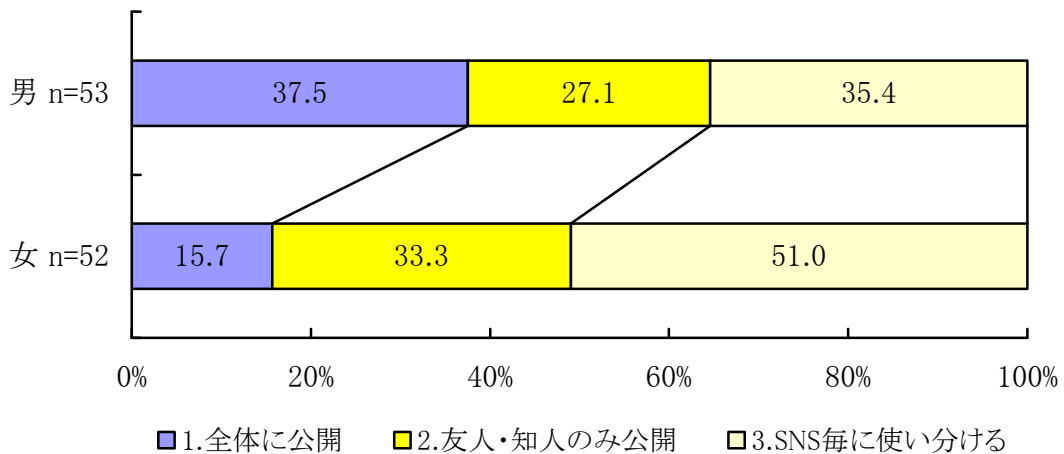
男性は「1~2時間」が約32%で最も高く、次いで「2~3時間」の約28%であった。男性は3時間未満の利用が大半を占めることがわかる。一方、女性は「1~2時間」の25%が最も高く、次いで「4~5時間以上」の約19%。女性は男性よりも長時間ネット利用をしていて、3時間以上利用の割合が半数である。つまり男性よりも女性の方が、一日のインターネット利用が長く、SNSやアプリなどの機能を使っている時間が長いことが予想される。

図2-3-2 SNSのアカウント数



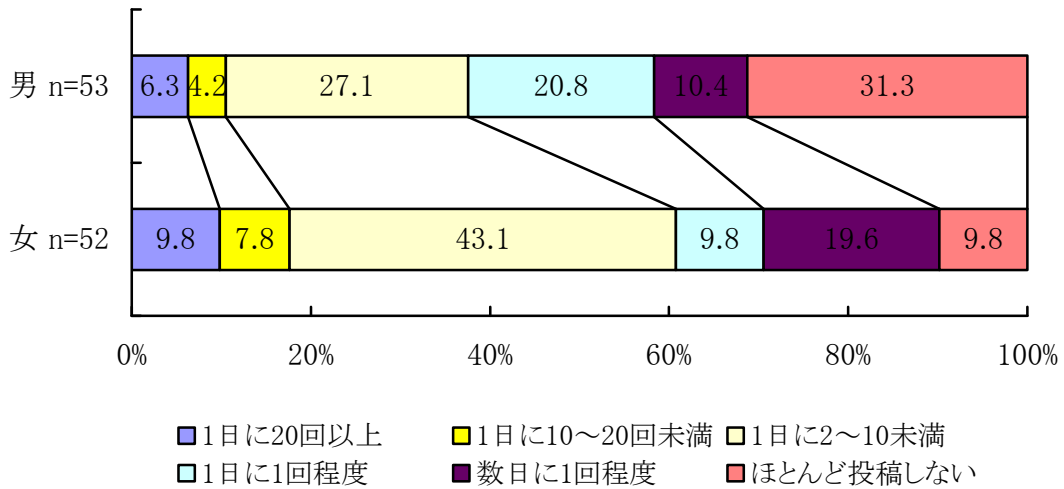
男性は「2つ」が約28%で最も高く、次いで「1つ」の約25%であった。男性はアカウントが「2つ以下」が半数以上を占める。女性は男性よりも「3つ・4つ」の割合が男性よりも多く、3つ以上が半数以上を占める。ネットに接触する時間が長い女性は、SNSのアカウント数も比例して多いと考えられる。

図2-3-3 投稿の公開範囲(χ<sup>2</sup>乗:\*)



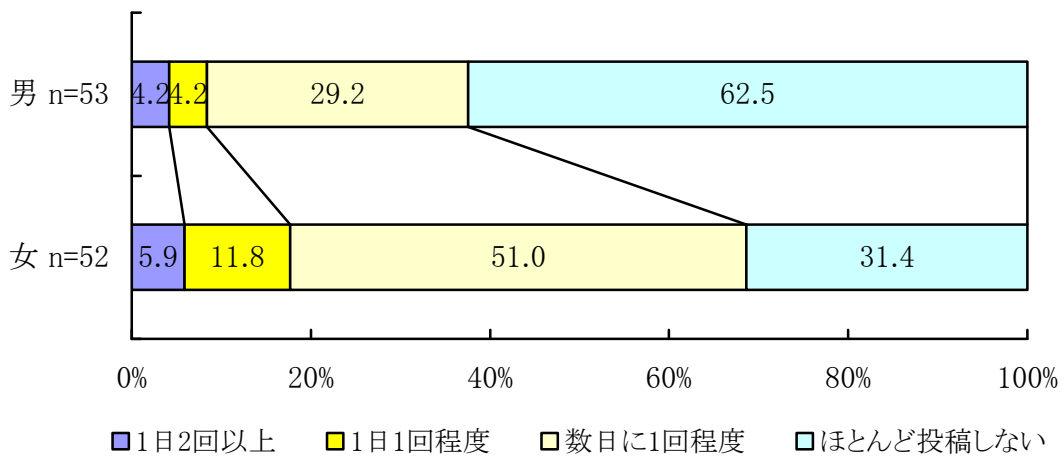
男性は全体に公開している人が約38%で一番多く、女性はSNS毎に使い分けるが約51%で一番多い。図2-3-2を見ると、男性は女性よりも所持している、アカウントが少ないため、「全体に公開」や「友人・知人のみ公開」など、どちらかに区別することができるが、女性は所持しているアカウントの数が多いために、SNS毎に使い分けている割合がおおくなったと考えられる。

図2-3-4 つぶやき頻度(χ<sup>2</sup>乗:\*)



男性では約 31%の人が「ほとんど投稿しない」と回答し、1日に1回以下の割合が約 63%であった。それに対して女性は「1日に10~20回未満」が約 43%で最も多く、常日頃から、つぶやいていることがわかる。このことから女性も、SNSの利用が活発で、よく利用している要因である。

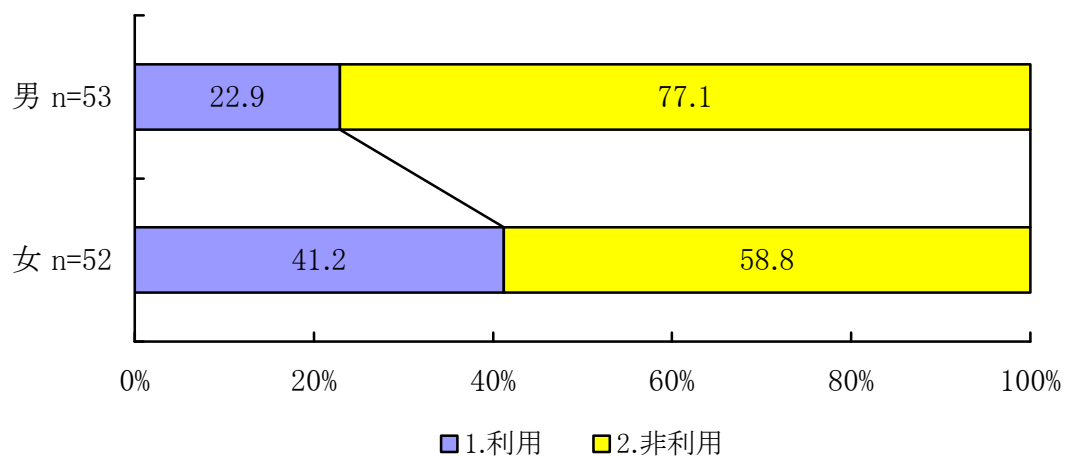
図2-3-5 SNSへの写真投稿頻度(χ<sup>2</sup>乗:\*)



男性は約 63%の人が「ほとんど投稿しない」と回答し、図 2-3-4 のつぶやく頻度でも投稿は少ない。投稿するというよりは、男性の SNS の利用の主となっているのは、閲覧することなのかもしれない。女性は「数日に1回程度」が約 51%で一番多く、つぶやき頻度と共に男性よりも投稿頻度が高い。また、女性はつぶやき頻度や写真投稿頻度が1日に1回

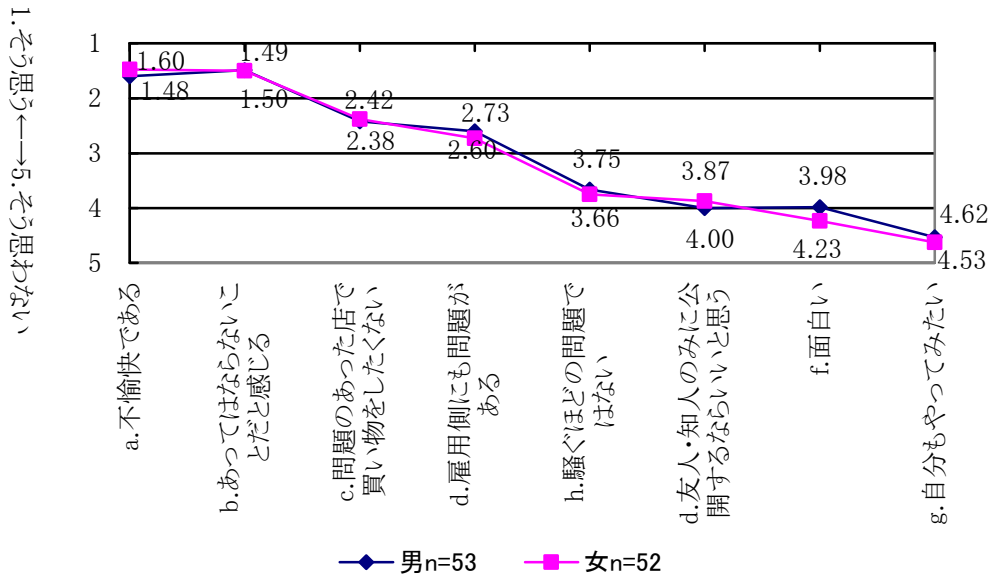
程度行っていることが多い。

図2-3-6 SNSプロフィールへの顔写真の利用( $\chi^2$ 乗:\*)



男性は「利用」が約23%、「非利用」が約77%。女性では「利用」が約41%、「非利用」が約59%。男性よりも女性のほうがプロフィールを顔写真にしている割合が高い。自分の顔写真をプロフィール画像にしていると、相手に信頼されやすい、自分をより身近に感じてもらえるなどのメリットがあることが考えられる。男性のほうが顔写真に対して抵抗があることがわかった。

図2-3-7 不適切写真への対応



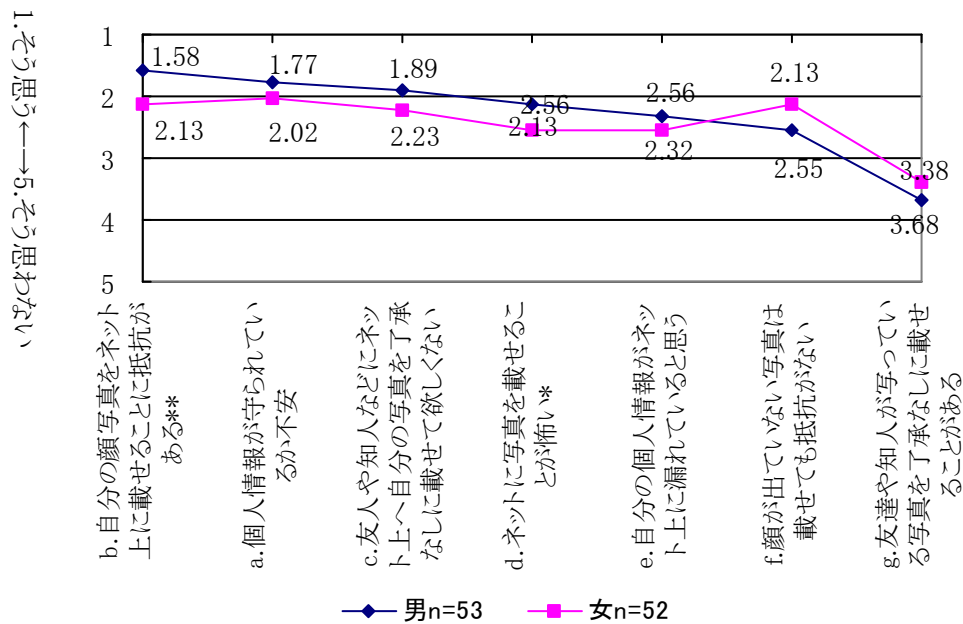
男性と女性で不適切写真への対応について様々な点から調査した。調査では下記の8項目を設定した。

- a. 不愉快である
- b. あってはならないことだと感じる
- c. 問題のあった店で買い物をしたくない
- d. 雇用側にも問題がある
- e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う
- f. 面白い
- g. 自分もやってみたい
- h. 騒ぐほどの問題ではない

これらの項目に対して、「1. と思う」～「5. そう思わない」の5段階で回答を得た。これらの回答の選択肢番号に対し、男性と女性毎にグループの平均で不適切写真アップロードへの意見の受け止め方を分析した。その結果を図2-3-7に示す。

結果は、図が示すように両グループに差はなく有意な結果は得られなかった。男性も女性も不適切写真への対応についての受け止め方は同じであるといえる。また、「a. 不愉快である」と「b. あってはならないことだと感じる」が両グループともに、不適切な写真に対し、良くないことだと思っている割合が非常に高い。

図2-3-8 写真アップへの考え方



男性と女性で、写真アップへの考え方についての質問群とのグループの平均を行った。その結果が図 2-3-8 である。

不適切写真への対応についての先行調査で挙げ、項目を 7 個設定した。項目は以下に示す。

- a. 個人情報を守られているか不安
- b. 自分の顔写真をネット上に載せることに抵抗がある
- c. 友人や知人などにネット上へ自分の写真を了承なしに載せて欲しくない
- d. ネットに写真を載せることが怖い
- e. 自分の個人情報がネット上に漏れていると思う
- f. 顔が出ていない写真は載せても抵抗がない
- g. 友達や知人が写っている写真を了承なしに載せることがある

これらの項目に対して、「1. そう思う」～「5. そう思わない」の 5 段階で回答を得た。これらの回答の選択肢番号に対し、男性と女性毎にグループの平均で写真アップへの考え方を分析した。その結果を図 2-3-8 に示す。

結果は、図の示すように男性の方が、写真アップへの考え方に抵抗や不安などと強く思っている。女性は写真に対し勝手に載せられることも男性よりも抵抗がない。また、女性のほうが人の写真を勝手に載せてしまうことがわかった。

女性のほうが SNS にメリットを感じていることが高いことが考えられ、男性は慎重な使



い方をしていると思われる。

## 第3章 まとめと今後の課題

### 3.1 まとめ

モラルやプライバシーへの注意と写真利用では、強注意層が SNS に対し、モラルやプライバシーを守るため、写真を投稿する際の選別やプロフィールの顔写真に慎重で、SNS を利用するというよりは、閲覧が主になっていると考えられる。弱注意層は強注意層と比べ、投稿頻度やプロフィールを顔写真にするのに積極的である。また抵抗や不安といった、個人情報に関わることにも寛容である。しかし、今回の調査ではトラブルが起きたことがあると回答したのは、すべて弱注意層であったことから、モラルやプライバシーの配慮が強注意層に比べないことがわかった。つまり日頃から、モラルやプライバシーへの注意がない人は、不適切な写真をあげてしまう可能性がある。よく SNS をやっている人は、モラルやプライバシーへの注意力が散漫になっている。写真をアップロードする際は、よく考えてから、載せていくことが必要である。

性差と写真利用では、男性は SNS の活用に慎重で、女性のほうが活発であるとわかった。SNS 利用でもあまり投稿することやプロフィールに顔写真を使用していない。一方女性は、ネットの利用時間も長くよく SNS に投稿している。SNS に非常に満足していて、常日頃から利用している。また、女性は写真をアップすることについては寛容で、人から勝手に載せられても男性よりも抵抗がなく、ネット上に載せることに積極的。SNS をいくつ持っている人が多く、女性は 3 個以上持っている人が多い、それに応じて公開範囲が決められている。男性は、複数持つということよりもいくつか持っている人が多く、公開範囲もしっかりと決められている。男性と女性では SNS の使用感が違うことが分かった。

SNS が普及し、アカウントを複数持つのが当たり前になってきた。しかし、それに応じて不適切な写真が世間で広がりを見せ、社会問題となっている。特に学生は、何気なく載せた写真が人生を変えてしまうかもしれない。遊び半分でも社会は許してくれない。だからこそ写真のアップロードには細心の注意が必要である。調査では、全体の 5% 未満が実際にトラブルが起きたことがあると回答した。この数値が多いか少ないかわからないが、私は多いと思う。少しでもトラブルを起こさないためにも、モラルやプライバシーに注意して SNS を活用していくことが大切だ。

### 3.2 今後の課題

SNS とアプリの違いがはっきりしなかったため受け止め方が曖昧にさせてしまったと思った。また回答されたものが 9 割の人が同じ回答をしているところがあるなど、もう少しアンケートに工夫が欲しかった。また、5 段階評価にすると、真ん中ができてしまい、それに回答する人が多かったため 4 段階評価にすべきであった。

## 参考文献リスト

- (1) ネットへの写真公開に関する主婦の実態調査

[http://mmd.up-date.ne.jp/news/detail.php?news\\_id=654](http://mmd.up-date.ne.jp/news/detail.php?news_id=654)

- (2) 男性スキンケアブランド「Men's BIORE」が実施した「ソーシャルメディアと顔写真」に関する調査

<http://news.mynavi.jp/news/2011/09/12/082/index.html>

- (3) ライフメディア、2011年から2013年のFacebookに関する調査結果を発表

<http://marketing.itmedia.co.jp/mm/articles/1306/24/news052.html>

- (4) LINEのプロフィールを顔写真にしている人の割合は? - マイナビニュース調査

[http://news.mynavi.jp/articles/2013/03/18/enquete\\_keitai13/index.html](http://news.mynavi.jp/articles/2013/03/18/enquete_keitai13/index.html)

- (5) ICTマーケティング・コンサルティング・市場調査

<http://www.ictr.co.jp/report/20130530000039.html>

## 写真とネットに関する調査

情報学部広報学科 3年 渡邊竜也

「社会調査Ⅲ」の授業のための調査です。無記名なので、率直にお答えください。

問1. あなたは1日どれくらいインターネットを利用していますか。(1つに○) n=105

1. 1時間未満 8.6	2. 1～2時間 28.6	3. 2～3時間 22.9
4. 3～4時間 13.3	5. 4～5時間 9.5	6. 5時間以上 17.1

問2. あなたはSNSサイトのアカウントがいくつありますか。(1つに○) n=105

1. 1つ 18.1	2. 2つ 26.7	3. 3つ 21.9
4. 4つ 14.3	5. 5つ以上 13.3	6. ない →問11へ 5.7

問3. あなたのSNSへの書き込みや投稿はどこまで公開されていますか。(1つに○) n=99

1. 全体に公開 26.3	2. 友人・知人のみ公開 30.3	3. SNSによって使い分けている 43.4
---------------	-------------------	------------------------

問4. SNSへ「つぶやく」頻度を教えてください。(1つに○) n=99

1. 1日に1回程度 15.2	2. 1日に2～10回未満 35.4	3. 1日に10～20回未満 6.1
4. 1日に20回以上 8.1	5. 数日に1回程度 15.2	6. ほとんど投稿しない 20.2

問5. SNSへの写真の投稿頻度を教えてください。(1つに○)

1. 1日に1回程度 8.1	2. 1日に2～10回未満 5.1	3. 1日に10～20回未満 0.0
4. 1日に20回以上 0.0	5. 数日に1回程度 40.4	6. ほとんど投稿しない 46.5

問6. SNSのプロフィール画像を自分の顔写真にしているものはありますか。(1つに○) n=99

1. はい 32.3	2. いいえ 67.7
------------	-------------

問7. ネット上に写真を載せるときに、モラルやプライバシーに配慮していますか。(1つに○) n=99

1. 強くしている 41.4	2. ややしている 52.5	3. あまりしていない 6.1	4. 全くしていない 0.0
----------------	----------------	-----------------	----------------

問8. アプリやSNSへアップロードする際に写真を注意して選別し、載せていますか。

(1つに○) n=99

1. いつもそうしている 60.6	2. 時々そうしている 30.3	3. あまりそうしていない 8.1
4. そうしていない 1.0		

問9. 自分が発信した情報でトラブルが起きたことがありますか。(1つに○) n=99

1. はい 5.1	2. いいえ 94.9
-----------	-------------

問10. SNS やアプリの機能で写真を利用する場合のあなたの受け止め方を教えてください。(それぞれ1つに○) n=99

a. SNS (Twitter、Facebook など)

	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	そうは思 わない
a. 写真を思い出として残せるのがいい	27.3	38.4	17.2	11.1	6.1
b. 写真を保存できるのがいい	25.3	38.4	15.2	11.1	10.1
c. 写真を共有できるのがいい	31.3	44.4	15.2	5.1	4.0
d. 多くの人に知らされるのがいい	19.2	40.4	21.2	15.2	4.0
e. 投稿できるのがいい	12.1	43.4	27.3	11.1	6.1
f. 友達とのコミュニケーションをとれるのがいい	26.3	51.5	17.2	3.0	2.0
g. 共通の話題を持つ人の写真を閲覧できるのがいい	28.3	49.5	18.2	3.0	1.0
h. 大人数の写真を公開できるのがいい	15.2	34.3	28.3	14.1	8.1

b. アプリ (LINE、スカイプ、カカオトークなど) n=99

	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	そうは思 わない
a. 写真を思い出として残せるのがいい	30.3	35.4	19.2	10.1	5.1
b. 写真を保存できるのがいい	38.4	32.3	15.2	7.1	7.1
c. 写真を共有できるのがいい	50.5	34.3	9.1	4.0	2.0
d. 多くの人に知らされるのがいい	26.3	26.5	27.3	13.1	7.1
e. 投稿できるのがいい	25.3	32.3	26.3	10.1	6.1
f. 友達とのコミュニケーションをとれるのがいい	46.5	41.4	8.1	3.0	1.0
g. 共通の話題を持つ人の写真を閲覧できるのがいい	32.3	33.3	19.2	10.1	5.1
h. 大人数の写真を公開できるのがいい	24.2	32.3	25.3	10.1	8.1

問 1 1. あなたは不適切な写真（未成年の喫煙写真やバイト先でのいたずら写真など）を撮影したことがありますか。（1つに○） n=105

1. はい	3.8	2. いいえ	96.2
-------	-----	--------	------

問 1 2. 不適切な写真をアップロードして店の信用を落とすことが相次いでいますが、あなたはどのように思いますか。（それぞれ1つに○） n=105

	当てはまる	やや当てはまる	どちらでもない	あまり当てはまらない	当てはまらない
a. 不愉快である	64.8	19.0	14.3	1.0	1.0
b. あってはならないことだと感じる	65.7	21.9	10.5	1.0	1.0
c. 問題のあった店で買い物をしたくない	26.7	27.6	30.5	9.5	5.7
d. 雇用側にも問題がある	15.2	31.4	30.5	17.1	5.7
e. 友人・知人のみに公開するならいいと思う	5.7	10.5	19.0	14.3	50.5
f. 面白い	3.8	10.5	15.2	12.4	58.1
g. 自分もやってみたい	1.0	2.9	8.6	13.3	74.3
h. 騒ぐほどの問題ではない	5.7	8.6	29.5	21.9	34.3

問 1 3. 写真をネット上に載せることについて当てはまり具合を教えてください。

（それぞれ1つに○） n=105

	当てはまる	やや当てはまる	どちらでもない	あまり当てはまらない	当てはまらない
a. 友人や知人などにネット上へ自分の写真を了承なしに載せて欲しくない	38.1	29.5	22.9	7.6	1.9
b. 自分の顔写真をネット上に載せることに抵抗がある	47.6	24.8	21.9	5.7	0.0
c. 個人情報が守られているか不安	41.0	36.2	17.1	3.8	1.9
d. ネットに写真を載せることが怖い	25.7	25.7	39.0	7.6	1.9
e. 自分の個人情報がネット上に漏れていると思う	16.2	40.0	29.5	12.4	1.9
f. 顔が出ていない写真は載せても抵抗がない	26.7	32.4	26.7	8.6	5.7
g. 友達や知人が写っている写真を了承なしに載せることがある	5.7	25.7	13.3	20.0	35.2

問14. ネットのリテラシーを守るためなら法規制も必要だと思いますか。(1つに○) n=105

1. そう思う 23.8	2. ややそう思う 46.7	3. どちらともいえない 20.0
4. あまりそう思わない 8.6	5. そう思わない 1.0	

最後にあなた自身についてお聞きします。 n=105

F1.性別 (1つに○)

1. 男 50.5	2. 女 49.5
-----------	-----------

F2.学年 (1つに○) n=105

1. 1年 0.0	2. 2年 19.0	3. 3年 62.9	4. 4年 18.1
-----------	------------	------------	------------

F3.学科 (1つに○) n=105

1. 広報学科 100.0	2. 経営情報学科	3. 情報システム学科
4. 国際コミュニケーション学科	5. 国際関係学科	6. 国際観光学科
7. 国際理解学科	8. 管理栄養学科	9. 健康栄養学科

F4.世帯状況 (1つに○) n=105

1. 一人暮らし 51.4	2. 実家暮らし 46.7	3. その他 1.9
---------------	---------------	------------

調査は以上です。  
ご協力ありがとうございました。